

平成16年度 横浜国立大学法科大学院入学試験  
小論文試験試験問題 (試験時間 13:00～16:00)

問題1 以下の文章を読み、設問に答えなさい。

(注)著作権法等の配慮により問題文は割愛します。

なお、問題文は、次の文献から引用しております。

『渡辺一夫評論選 狂気について 他二十二篇』 大江健三郎、清水徹 編  
(1993年 岩波文庫)  
194ページ4行目(表題、引用除く)～196ページ14行目  
197ページ15行目～200ページ1行目

問1 著者は、この作品の標題となった「寛容は自らを守るために不寛容に対して不寛容になるべきか」という問いかけに対し、下線部(a)に見られるとおり、前もって文章の冒頭に自らの結論を提示している。本作品の場合、そうした結論の示し方には、著者のどのような意図が込められていると考えられるか。この点について説明せよ。(200字以内)

(附記) 下線部(a)とされた部分は、「195ページ5行8字目～35字目」。

問2 著者は、下線部(b)の「契約」という言葉をどのような意味で用いているか。この点について簡潔に説明せよ。(100字以内)

(附記) 下線部(b)とされた部分は、「196ページ4行1字目～2字目」。

問3 あなたは、上に掲げた文章における著者の主張をどのように受け止めるか。具体的な事例を引きながら、自由に自己の考えを述べよ。(800字以内)

問題2 以下に掲げる文章は、2000年に出版された、A・ネグリとM・ハートの共著になる『帝国』の和訳の一部である。  
以下の文章を読み、それぞれの設問に答えなさい。

(注)著作権法等の配慮により問題文は割愛します。

なお、問題文は、次の文献から引用しております。

『帝国』 A・ネグリ、M・ハート 著 水嶋一憲他3名 訳  
(2003年 以文社)  
22ページ5行目(表題除く)～24ページ11行目

問1 この文章から、著者(ネグリとハート)の考え方にしがつて、「帝国主義」と「〈帝国〉」を説明しなさい(200字以内)

問2 著者のいう「帝国主義」と「〈帝国〉」のそれぞれの考え方からすれば、現在の地球温暖化問題への対応には、どのような違いが生じることとなるのか、先に掲げた文章に即して整理した上で、あなた自身の考えを述べなさい。字数は徳に制限を設けません。ただし、配布された解答用紙の所定の箇所に収まるように記入してください。欄外に記入した場合は、答案全体が無効となります。また、追加の解答用紙は配布しません。なお、解答中に図表を用いしないで下さい。